

主要な施策の成果（「新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策経費」）

① 次のページからの「対策の区分」に記されている数字は、以下の4つの区分を表しています。

- I：感染拡大防止への取組
- II：暮らし・雇用・事業者を守る取組
- III：収束局面での地域経済活動の回復
- IV：感染症等の非常時に強い社会経済構造の構築

② 「臨時交付金」と記されている事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業を表しています。

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
庁内情報化推進事業費(手続きナビシステム関連経費) (情報統計課)	75,599	36,762		38,837
		臨時交付金	IV	

説明

○ 様々な行政手続きについて、「窓口で時間がかかる」「必要な手続きがよくわからない」「窓口での書類不備」などの課題を解決するため、インターネット経由での事前申請や来庁窓口での申請書等の記載省略により、「待たない」「書かない」「迷わない」「行かない」窓口サービスの実現を目指し、市民の利便性向上と窓口事務の効率化を図りました。

[事業内容]

- 令和4年10月 3日 引っ越し(転入・転居・転出)に伴う37手続きを11所属の窓口で開始
- 令和4年10月31日 マイナンバーカードを利用し、来庁しないで完了する手続きを転出届で開始
- 令和5年 3月22日 マイナンバーカードを利用し、行政が保有する自身の情報を利用することで入力の手軽化ができる手続きを転居届及び転出届で開始
- 令和5年 3月27日 税や福祉の手続きを加え、112手続き、22所属の窓口にも拡充

[事業成果]

成果指標 (KPI)	令和4年度末		
	目標値	実績値	達成率
書かないデジタル行政手続き数	10個	112個	1,120%
市保有情報の利用可能数	5個	9個	180%
ユーザー(住民)5段階評価の平均値	2.80	4.19	150%
デジタル申請の割合	7.0%	9.5%	136%

[手続きナビシステムを利用した主な手続き]

手続き名	事前申請	来庁申請
軽自動車税(種別割)の申告	○	○
納税相談	○	○
転入・転出・転居届	○	○
生活保護受給者証交付申請書	○	○
身体障害者手帳交付	○	○
要介護・要支援認定の申請	○	○
児童手当・特例給付 認定請求書	○	○
保育施設入所申込	○	○
国民健康保険資格取得	○	○
妊娠の届出	○	
大塚山納骨堂使用許可申請	○	○
市営住宅の入居申込	○	○
転居等に伴う学区外申請		○
学校体育施設開放利用団体登録申請	○	○

[対象窓口]

所属名等
税務課
納税課
市民課
地域福祉課
障がい者支援課
高齢福祉課
こども家庭課
こども保育課
国保年金課
健康増進課
都市計画課
建築住宅課
学校教育課
スポーツ推進課
各支所(2箇所)
各市民センター(6箇所)

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
地域公共交通活性化事業費（地域交通事業者緊急支援金） (地域づくり課)	36,152			36,152
		臨時交付金	II	

説 明

○ 生活上の移動手段であり、また社会活動や観光客等との交流を支える公共基盤であるバス、タクシー、鉄道の維持を図るため、新型コロナウイルス感染拡大の影響や燃料費価格の高騰により厳しい経営環境にある地域交通事業者に対し、支援を行いました。

[事業内容]

1. バス及びタクシー事業者

① 車両維持対策

稼働の有無に関わらず必要となる車両維持費（車検費用等の固定費）について、売上の減少率に応じて緊急支援金を交付しました。

② 燃料費高騰対策

令和4年1月から12月までの燃料費の実績に対して、燃料費価格上昇分を支援する緊急支援金を交付しました。

2. 鉄道事業者

利用者が減少し、原油価格・物価高騰の影響がある状況においても、通常の運行を維持するための経費について、県及び沿線自治体と協調して支援を行いました。

[交付実績]

	業種	交付対象	金額
1. ①	路線バス	7路線 (2事業者)	5,471千円
	貸切バス	69台 (4事業者)	4,830千円
	タクシー	146台 (4事業者)	5,840千円
1. ②	路線バス	7路線 (2事業者)	2,278千円
	貸切バス	(4事業者)	6,523千円
	タクシー	(4事業者)	4,386千円
	介護タクシー	(11事業者)	852千円
2	鉄道	会津鉄道・野岩鉄道	5,972千円
	合計		36,152千円

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
物価高騰緊急支援給付金給付事業費 (地域福祉課)	850,730	650,346	6	200,378
臨時交付金	II			
説 明				
<p>○ 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対して、1世帯当たり5万円を給付しました。</p> <p>1. 対象者</p> <p>(1) 令和4年度住民税非課税世帯（国事業）</p> <p>(2) 家計急変世帯（国事業）</p> <p>(3) 令和4年度住民税課税世帯のうち、均等割のみ課税されている世帯（市単独事業）</p> <p>(4) 令和4年度住民税非課税世帯のうち、住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯で、かつ経済的に困窮している世帯（市単独事業）</p> <p>2. 給付額</p> <p>1世帯当たり5万円（1回のみ）</p> <p>3. 支給件数</p> <p>(1) 国事業分 12,573件</p> <p>(2) 市単独事業分 3,872件</p> <p>4. 支給額</p> <p>(1) 国事業分 628,650千円</p> <p>(2) 市単独事業分 193,600千円</p>				
住民税非課税世帯等暖房費助成事業費 (地域福祉課)	2,690			2,690
臨時交付金	II			
説 明				
<p>○ 感染症の影響が長期化する中、昨今の原油等のエネルギー価格高騰を踏まえ、住民税非課税世帯等に対する冬期間の暖房費支援として、1世帯当たり5千円を助成しました。</p> <p>1. 対象者</p> <p>(1) 令和3年度住民税非課税世帯</p> <p>(2) 家計急変世帯</p> <p>2. 助成額</p> <p>1世帯当たり5千円（1回のみ）</p> <p>3. 支給件数</p> <p>538件</p> <p>4. 支給額</p> <p>2,690千円</p>				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
住民税非課税世帯等光熱費助成事業費 (地域福祉課)	8,555			8,555
		臨時交付金	II	
説 明				
<p>○ 感染症の影響が長期化する中、昨今のエネルギー価格高騰を踏まえ、住民税非課税世帯等に対する光熱費支援として、1世帯当たり5千円を助成しました。</p> <p>1. 対象者（既に暖房費を助成した世帯は対象外）</p> <p>(1) 令和4年度住民税非課税世帯</p> <p>(2) 家計急変世帯</p> <p>2. 助成額</p> <p>1世帯当たり5千円（1回のみ）</p> <p>3. 支給件数</p> <p>1,711件</p> <p>4. 支給額</p> <p>8,555千円</p>				
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費 (地域福祉課)	42,310	42,310		
			II	
説 明				
<p>○ 感染症の影響で生活に困窮し、社会福祉協議会の緊急小口資金等の特例貸付を上限まで利用したなどの要件を満たす世帯を対象として、就労自立を図るため世帯人数に応じた自立支援金を給付しました。</p> <p>1. 対象者 ※以下のすべてに該当する世帯</p> <p>(1) 会津若松市に住民票があること。</p> <p>(2) 社会福祉協議会における緊急小口資金等の特例貸付がすべて終了した世帯、または再貸付が不承認となった世帯であること。</p> <p>(3) 世帯全員の収入月額合計が基準額（住民税非課税相当額＋生活保護住宅扶助基準額）以下であること。</p> <p>(4) 世帯全員の預貯金の合計が基準額以下であること。</p> <p>(5) 生活保護受給世帯ではないこと。</p> <p>(6) 公共職業安定所で積極的な求職活動を行っている、または行うことができること。</p> <p>2. 給付額</p> <p>単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円</p> <p>3. 支給実績</p> <p>支給世帯数 69世帯</p> <p>支給件数（延べ） 583件</p> <p>4. 支給額</p> <p>42,220千円</p>				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 (こども家庭課)	135,519	135,361	5	153

説 明

○ 感染症の影響が長期化する中、食費等の物価高騰等に直面する低所得のひとり親世帯及びひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対し、経済的支援を目的として、児童一人あたり5万円を給付しました。

1. 対象者 ※以下のいずれかに該当する方

(1) 低所得のひとり親世帯

- ① 令和4年4月分の児童扶養手当が支給される方
- ② 公的年金等を受給しており、令和4年4月分の児童扶養手当が支給されない方（公的年金受給者）
- ③ 感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準になっている方（家計急変者）

(2) ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯

- ① 令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当が支給される方で、令和4年度分の住民税均等割が非課税である方
- ② 対象児童（18歳年度末までの子（令和5年2月末までに生まれた新生児も対象）、障がい児は20歳未満までの子）の養育者であって、以下のいずれかに該当する方
 - ・ 令和4年度分の住民税均等割が非課税である方
 - ・ 感染症の影響を受けて家計が急変し、令和4年度分の住民税均等割が非課税である方と同様の事情にあると認められる方

2. 給付額

児童一人あたり5万円

3. 支給実績

(1) 低所得のひとり親世帯	1,103世帯
(2) ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯	525世帯
計	1,628世帯

4. 支給額

(1) 低所得のひとり親世帯	82,500千円
(2) ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯	48,400千円
計	130,900千円

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳				
		国県支出金	その他	一般財源		
感染症対策費（濃厚接触者等生活支援） (健康増進課 新型コロナウイルス感染症対策室)	1,072			1,072		
臨時交付金 I						
説 明						
○ 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者・自宅療養者で、自宅療養期間中の生活に支援を必要とする方に対し、生活物資の提供を行いました。						
[支援内容]						
① 食料品セット 主食、副食、スープ麺、飲料等 ※濃厚接触者のみ ② 日用品セット ティッシュペーパー、トイレトペーパー、ハンドソープ ③ 乳幼児セット 紙おむつ、粉ミルク ④ 女性セット 生理用品 ⑤ 感染対策セット アルコール消毒液、マスク、使い捨てゴム手袋						
[支援実績]						
	件数	提供セット数				
		食料品	日用品	乳幼児	女性	感染対策
濃厚接触者	2	4	0	0	0	0
自宅療養者	485	—	414	175	203	396
※対象者に聞き取りの上、必要な生活物資を組み合わせ提供						
感染症対策費（医療従事者宿泊支援） (健康増進課 新型コロナウイルス感染症対策室)	1,566				1,566	
臨時交付金 I						
説 明						
○ 感染症対策にあたる医療従事者へ宿泊場所を提供した宿泊事業者に対して、宿泊費用の一部を助成することで、医療従事者の身体的・精神的な負担軽減を図りました。						
・対象宿泊施設数：6施設 ・利用実績						
年 月	泊 数	助成金額 (円)				
令和4年4月	48	288,000				
5月	29	174,000				
6月	4	24,000				
11月	19	114,000				
12月	53	318,000				
令和5年1月	108	648,000				
合 計	261	1,566,000				
※令和4年7月～10月及び令和5年2月～3月は利用無し						

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
新型コロナウイルスワクチン接種事業費 (健康増進課 新型コロナウイルス感染症対策室) I	611,785	611,069	716	

説明

- 重症化予防や感染予防、感染拡大を防ぐため、会津若松医師会等と連携し、迅速かつ円滑なワクチン接種を実施しました。

[接種人数(令和4年度)]

1. 12歳以上

接種回	人数
1回目	2,159
2回目	2,368
3回目	31,127
4回目	62,601
5回目	34,564

※参考 (R3.3~R5.3までの累計)

接種回	合計		内訳	
			65歳以上	12~64歳
	人数	接種率	人数	人数
1回目	97,696	93.9%	37,155	60,541
2回目	96,902	93.1%	36,944	59,958
3回目	83,346	80.1%	34,751	48,595
4回目	62,601	60.1%	31,556	31,045
5回目	34,564	33.2%	26,471	8,093

2. 小児及び乳幼児

接種回	人数
1回目	2,054
2回目	2,660
3回目	1,328

※参考 (小児：R4.3~R5.3、乳幼児：R4.11~R5.3までの累計)

接種回	合計		内訳	
			小児	乳幼児
	人数	接種率	人数	人数
1回目	2,796	28.6%	2,554	242
2回目	2,686	27.5%	2,458	228
3回目	1,328	13.6%	1,234	94

※上記表中、「人数」は、例えば、同一の人が1回目、2回目、3回目の接種を受けた場合、それぞれの接種回に加算しています。

[備考]

- 接種率の算定：

分子 = 接種人数 (令和5年4月5日までに国ワクチン接種記録システム (VRS) に登録)

分母 = 令和5年1月1日時点における対象年齢の住基人口

- 小児は5歳から11歳、乳幼児は生後6か月から4歳

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
廃棄物収集運搬処理費（家庭系ごみ収集運搬業務継続支援事業補助金） (廃棄物対策課)	3,177			3,177
		臨時交付金	II	

説 明

- 新型コロナウイルス感染症拡大時にあっても、家庭系ごみ収集運搬業務の業務継続を図り、市民の衛生的な生活環境を保持するため、家庭系ごみ収集運搬業務の受託者に対し補助金を交付し、事業者の業務継続体制の構築を支援しました。

[交付実績]

1. 交付先 会津若松環境管理協業組合
2. 内 容 家庭系ごみ収集運搬車両のGPS情報を活用した運行管理システムへの支援
3. 効 果
 - (1) 事業者による業務継続計画の整備
 - (2) システムの活用による家庭ごみ収集運搬の業務継続体制の構築
 - (3) システムの活用による車両の運行状況等のリアルタイムでの把握と、市へのより迅速な情報提供体制の構築

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
会津馬肉需要開拓緊急対策事業費 (農政課)	1,076			1,076
臨時交付金 II				
説 明				
○ 感染症の影響により、売上減や在庫増加等の問題を抱える会津馬肉生産者に対し、会津馬肉を学校給食食材として活用できるよう補助金を交付することで営農継続を支援しました。				
<学校給食への食材提供>				
・提供期間：令和4年6月～令和4年12月				
・提供回数：市立小中学校へ延べ30回				
・提供量：488.80kg ※左記について、会津馬肉生産者の過剰在庫が解消された。				
農業担い手支援事業費（収入保険加入促進事業補助金） (農政課)	1,043			1,043
臨時交付金 II				
説 明				
○ 感染症の影響から、農産物の需要減少や販売価格の下落等が懸念される本市生産者に対し、収入保険制度への加入にかかる保険料の一部を補助することで、収入保険制度への新規加入を促進し、営農継続を支援しました。				
<収入保険制度の新規加入者数>				
・令和5年を対象年とする収入保険制度の新規加入者数：28名				
・総加入者数（継続を含む）：225名				
会津地鶏販売促進緊急対策事業費 (農政課)	3,477			3,477
臨時交付金 II				
説 明				
○ 感染症の影響により、売上減や在庫増加等の問題を抱える会津地鶏生産者に対し、会津地鶏を学校給食食材として活用できるよう補助金を交付することで、営農継続を支援しました。				
<学校給食への食材提供>				
・提供期間：令和4年6月～令和4年12月				
・提供回数：市立小中学校へ延べ49回				
・提供量：986.34kg ※左記について、会津地鶏生産者の過剰在庫が解消された。				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
市産米粉消費拡大緊急対策事業費 (農政課) 臨時交付金 II	5,114			5,114
説 明				
<p>○ 感染症の影響に伴う米の生産・供給過剰により、令和4年産米価格の下落が懸念されることから、市産米を米粉パンとして学校給食へ提供できるよう補助金を交付し、令和4年産米の供給過剰を一部緩和しました。 また、学校給食により米粉パンの利用機会を設けることで、今後の米粉の消費拡大を図りました。</p> <p><学校給食への米粉パン提供></p> <ul style="list-style-type: none"> 提供期間：令和4年10月～令和5年3月 提供回数：市立小中学校へ延べ146回 提供量：69,924個 				
畜産振興事業費（会津牛生産推進緊急対策事業奨励金） (農政課) 臨時交付金 II	5,100			5,100
説 明				
<p>○ 飼料価格高騰等の影響を受けている畜産農家に対し、対象期間内における子牛の出荷に応じて奨励金を交付することで、経営安定及び営農継続を支援しました。</p> <p><肉用子牛の出荷></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象出荷期間：令和4年6月～令和5年3月 奨励金単価100千円×出荷頭数51頭 				
水田利活用推進事業費（飼料用米緊急転換推進事業） (農政課) 臨時交付金 II	67,060			67,060
説 明				
<p>○ 感染症拡大の影響により業務用米需要が減少し、令和3年産米を含めた主食用米が生産・供給過多の状況であることから、令和4年産生産数量・面積の目安の達成に向け、主食用米から飼料用米（一般品種）へ転換し、出荷する農業者及び集荷業者に対して支援を行いました。</p> <p>① 生産者助成（184件）：取組面積 51,260a×補助単価 12,000円/10a</p> <p>② 集荷業者助成（11件）：集荷数量 3,302,047kg×補助単価 100円/60kg</p>				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
地場産業振興事業費（呑んで運試し！会津SAKEガチャプロジェクト事業補助金） (商工課)	22,177			22,177
臨時交付金 III				
説 明				
○ 感染症の拡大により、大きな影響を受けた夜間営業の飲食店や酒造会社等の活性化を図るため、会津SAKEガチャプロジェクト実行委員会が実施する事業に対し、補助金を交付しました。				
1. 事業内容				
① 「会津清酒で乾杯！」事業 参加店舗に乾杯酒用の会津清酒を提供				
・配布本数 1,799本（全て一升瓶）				
② ガチャして抽選事業（LINEを活用したデジタルスタンプラリー） 一人あたり2,000円以上の飲食でポイント（1点、3点、5点）がランダムに付与されるガチャ抽選券を1枚発行				
・アカウント登録者数 2,925人 ・参加店舗数 95店				
③ またまた呑んべえ事業 集めたポイント数に応じて会津清酒や会津漆器等の地場産品や参加店舗で利用できるクーポン、温泉宿泊券などが当たる抽選会を実施				
・応募者数 延べ3,090人 ・当選者数 延べ1,566人				
2. 実施期間 令和4年7月1日～12月31日				
商業地域活性化事業費（プレミアム商品券事業補助金） (商工課)	223,955			223,955
臨時交付金 III				
説 明				
○ 感染症の影響により低迷している市内経済の回復を図るため、会津若松商工会議所が実施するプレミアム商品券事業に対し、補助金を交付しました。				
1. 商品券発行状況				
・販売総額 1,056,250,000円（プレミアム率25%、211,250,000円）				
・販売数 105,625セット（1セット10,000円分の商品券を8,000円で販売）				
※1人3セットまで購入可能				
・対象者 市民（年齢制限なし）				
・商品券内容 1,000円券の10枚綴り（共通券5枚、地元券5枚）				
共通券：参加店全てで利用可能 地元券：地元店のみで利用可能				
※地元店：会津地域に本店がある店舗又は売場面積500㎡以下の店舗				
・利用期間 令和4年11月3日～令和5年2月15日				
・購入方法 はがき又はWEBによる事前申込				
2. 参加店舗				
・店舗数 846店舗（うち地元店796店舗）				
・参加条件 飲食店や小売業、サービス業のほか、直接消費者に販売又はサービスを提供する事業者				
3. 換金状況				
・換金額 1,052,071,000円（換金率99.60%）				
・換金期間 令和4年11月～令和5年3月（8回）				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
観光振興事業費(ワーケーション推進協議会負担金) (観光課) 臨時交付金 III	6,947			6,947
説 明				
<p>○ 本市における「ワーケーション」及び「ブレジャー」を推進し、平日や閑散期の需要を掘り起こすことで、観光需要の平準化や滞在期間の拡大につなげ、観光消費額の向上を図ることを目的として活動する「会津若松市ワーケーション推進協議会」に対し負担金を支出しました。 令和4年度は、本市の強みを活かせるターゲットの明確化や推進するワーケーションタイプを決定するなど、ワーケーション推進にかかる実施計画を策定しました。</p>				
1. ワケーション推進事業				
① 基礎リサーチの実施				
<p>本市の強みが活かせるターゲット等を明確化するため、AiCTコンソーシアムへのアンケート調査や、オープンデータを活用した企業ニーズ調査を実施しました。</p>				
② モニターツアーの実施				
<p>ブレジャータイプ及び企業研修タイプのモニターツアーを催行し、ビジネス来訪者ニーズの把握や受入側の課題について検証しました。</p>				
○ ブレジャータイプ				
<p>日 時：令和4年12月7日(水)～9日(金) 2泊3日 参加者：TIS株式会社 7名</p>				
<p>日 時：令和5年3月13日(月)～15日(水) 2泊3日 参加者：首都圏等の企業関係者 8社8名</p>				
○ 企業研修タイプ				
<p>日 時：令和4年12月13日(火)～16日(金) 3泊4日 参加者：AiCTコンソーシアム会員企業 6社7名</p>				
③ 地域勉強会の実施				
<p>基礎リサーチやモニターツアーの実施結果などをもとに、地域事業者を対象としたワーケーション推進(受入)体制の整備に向けた勉強会を実施しました。</p>				
④ 地域課題検討会の実施				
<p>本市でのワーケーション推進(受入)体制を整備するため、「地域が抱える課題」の解消に向けて、地域事業者によるワークショップを開催しました。</p>				
⑤ 実施計画策定				
<p>基礎リサーチやモニターツアー、地域課題検討会などの分析結果を踏まえ、本市の強みを活かせるターゲットの明確化や推進するワーケーションタイプ、今後のスケジュールなど、次年度以降の事業推進方針をまとめた実施計画を策定しました。</p>				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
国際観光推進事業費（ナイトタイムエコノミー推進協議会負担金） (観光課)	8,500			8,500
		臨時交付金	III	

説明

- 市ナイトタイムエコノミー推進協議会に対し負担金を支出し、新たな夜間コンテンツの創出を図ることで、滞在型観光の推進と観光消費額の向上に向けた取組を推進しました。

[事業概要]

1. 極上のはしご酒事業

市内飲食店と連携し、会津の食材を活用した料理とお酒を定額で楽しめる宿泊者限定の企画を立案し、参加店舗や提供メニューをとりまとめた専用のリーフレットを作成・配布することで、夜間のまちなか周遊を促進しました。

また、宿泊需要の喚起策として、極上のはしご酒クーポン付きの宿泊プランを、飲食店及び宿泊施設と連携して企画、販売しました。

極上のはしご酒事業

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

実績：協賛店舗数 上期30店・下期26店

利用件数 約280件／月

宿泊プラン事業

期間：令和5年2月1日～令和5年3月31日

実績：協賛店舗数 宿泊施設4軒、飲食店10軒

利用者数 72人

2. まちなか周遊・消費促進事業

令和3年度に構築した音声ARコンテンツ「裏会津」に加え、新選組隊士と一緒にまち歩きを楽しむ「新選組チャンネル」と、本市の観光スポットをデジタル音声でガイドする「鶴ヶ城観光ガイドチャンネル」の2つのコンテンツを新たに配信し、まちなか周遊のさらなる促進を図りました。

期間：令和4年7月23日～令和5年2月28日

実績：利用者数 約1,400人

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
観光施設事業特別会計繰出金 (2022鶴ヶ城誘客促進事業 実行委員会負担金) (観光課)	43,383			43,383
		臨時交付金	III	
説 明				
<p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく落ち込んだ本市観光入込の早急な回復を図るため、観光のシンボルである鶴ヶ城において各種誘客事業を実施する「2022鶴ヶ城誘客促進事業実行委員会」に対し負担金を支出し、鶴ヶ城を起点としてまちなかへの周遊や宿泊等滞在型観光を推進することで、観光産業及び地域経済の活性化を図りました。</p> <p>[事業概要]</p> <p>1. 鶴ヶ城ボート体験事業 史跡若松城跡内の南町通濠（西出丸西側）でのボートの貸出（手漕ぎボート2～3人乗り10隻）</p> <p>実施場所：史跡若松城跡南町通濠 実施期間：令和4年4月15日～9月30日の全日、10月1日～11月27日の土日祝日 利用時間：10時～18時 利用料金：1隻／回あたり800円（天守閣・麟閣共通券とセット購入の場合は600円） （1回あたり30分） 利用者：7,191人 売上：1,751千円</p> <p>2. 高所観覧体験事業 鶴ヶ城公園内において高所作業車（地上15m）からの観覧体験を実施</p> <p>実施場所：史跡若松城跡内本丸及び二ノ丸広場 実施期間：令和4年4月15日～6月30日の土日祝日 利用時間：12時～20時（6月3日以降は10時～20時） 利用料金：1,000円（天守閣・麟閣共通券とセット購入の場合は800円） 利用者：1,524人 売上：489千円</p> <p>3. 光のアートプロジェクト事業 天守閣長寿命化工事の期間、南走長屋や干飯櫓にデジタル技術を活用したアート空間を創出</p> <p>実施場所：鉄門、南走長屋、干飯櫓 実施期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日 利用料金：410円（天守閣入場料と同額） 入場者：67,021人 利用料収入：20,379千円</p>				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 土木費

(単位：千円)

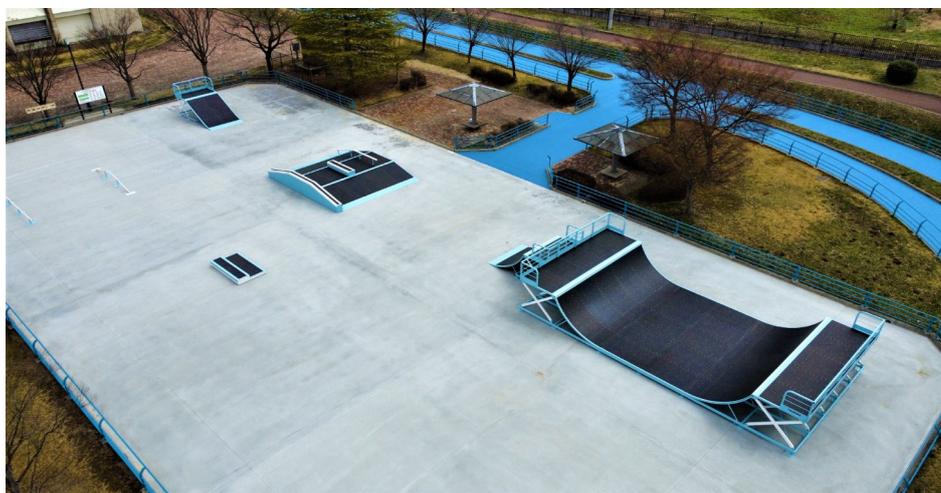
事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
会津総合運動公園等施設改修事業費 (バスケットボールコート整備工事及びローラースケート場改修工事) (まちづくり整備課)	103,966			103,966
		臨時交付金	IV	

説明

○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、運動公園においても屋内施設を中心に利用者数が減少している中、屋外運動施設の充実を図るため、3密を回避した屋外スポーツとして若い方々を中心に人気の高まっているバスケットボール、スケートボードができるよう整備し、魅力ある屋外運動施設としてリニューアルしました。

1. 工事請負費

内容	事業量	事業費
会津総合運動公園屋外バスケットボールコート整備工事 (3x3バスケットボールコート)	バスケットボールコート整備 N=2面 防球ネット設置工 L=37.0m	25,139千円
会津総合運動公園ローラースケート場改修工事 (スケートパーク整備)	セクション設置工 N=7基 舗装工 N=1式	78,827千円
合計		103,966千円



【感染症対策及び物価高騰対策経費】 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
都市計画事務費 (都市計画情報デジタル化等業務委託) (都市計画課) 臨時交付金 IV	26,980			26,980
説 明				
<p>○ 窓口の接触機会低減を目的に、市ホームページに都市計画情報を公開するため、各種都市計画情報をデジタル化し、データベースの構築を行いました。</p> <p>[都市計画情報デジタル化等業務委託内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種都市計画情報のデジタル化 ・用途地域等 25.7km² ・その他都市計画情報 (開発許可区域等) 2,680件 ・都市計画図 (1/2500) の公開用データへの変換 85面 				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 消防費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
防災対策費 (感染拡大防止に必要な備蓄品等の確保) (危機管理課) 臨時交付金 I	36,552		975	35,577
説 明				
<p>○ 避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために必要な備蓄品を整備するとともに、分散避難時における防災拠点施設への外部給電を可能とする体制を構築しました。</p> <p>○ 備蓄整備数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 段ボールベッド： 2,291台 ・ パーティション： 1,151張 <p>【備蓄保管場所】</p> <p>城北小学校、城西小学校、日新小学校、一箕小学校、松長小学校、永和小学校、神指小学校、城南小学校、大戸小学校、東山小学校、荒館小学校、川南小学校、第一中学校、第三中学校、第四中学校、第六中学校、湊中学校、一箕中学校、大戸中学校、河東学園、会津総合運動公園、鶴ヶ城体育館、河東総合体育館</p> <p>・ 可搬型給電器： 5台</p> <p>【備蓄保管場所】</p> <p>勤教倉庫</p>				

【感染症対策及び物価高騰対策経費】 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課) / 対策の区分	決算額	財源内訳		
		国県支出金	その他	一般財源
学校給食食材購入費 (学校教育課 学校保健給食室)	18,293			18,293
臨時交付金 II				
説 明				
○ 物価高騰対策として、価格が高騰している学校給食の食材の一部を市が購入することで、保護者の負担を増やすことなく円滑に学校給食を実施しました。				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象児童生徒数 約8,400人 ・ ソフトめん及び中華めん購入 12,291,530円 ・ 調味料及び食用油購入 6,001,150円 				
収蔵美術作品管理活用経費 (収蔵美術作品デジタル撮影等業務委託) (文化課)	935			935
臨時交付金 IV				
説 明				
○ 新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、芸術作品に親しむ環境を整備するため、市収蔵美術作品のデジタル化及びデジタル化したデータを活用した動画制作を行い、新たな展示手法による鑑賞機会の充実を図りました。				
1. 制作物 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市収蔵作品のデジタルデータ 11作品 ・ 動画データ 3作品 				
2. 新たな鑑賞機会 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット上でのデジタル動画の配信 ・ 市HPのバーチャルミュージアムの整備 ・ 学校での展覧会の開催 				
小学校体育館で開催した展覧会の様子				
				
(動画データ) 作者：春日部たすく 作品名：庭 制作年：1950年				
				
市公式YouTubeチャンネルで動画をご覧ください。				
				

主要な施策の成果（「地方創生」 梓事業）

【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	広報発刊費・広報活動費 (シビックプライド向上で移住(Uターン)促進プロジェクト)			
担当課	秘書広聴課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,414	1,707			1,707

説 明

- 本市の魅力や地域資源を紹介するパンフレットやテレビ番組を使ったシティプロモーションを展開することで、シビックプライドや郷土愛の向上を図り、本市在住の若者の地元定住や市外からの若者の移住を促進し、定住人口の増加や地域活性化を目指しました。

[事業実績]

- シティプロモーションパンフレットの作成・配布
 - ・市政だよりの特集記事を再編集してパンフレット化し、イベントなどで配布
- シティプロモーションテレビ広報番組の制作・放送
 - ・若者をターゲットとしたテレビ広報番組を制作し、県内で放送(1回あたり5分を12回放送)
 - ・テレビで放送した動画は、ユーチューブなどインターネットで県外へも広く配信

[事業成果]

指標名	目標値	実績値	達成率
シティプロモーションテレビ広報番組平均視聴率	8%	10.0%	125.0%
シティプロモーションテレビ広報番組ユーチューブ累計再生回数	15,000回	33,470回	223.1%
会津管内就職率(管内留保率)	72%	62.4%	86.7%
年度別移住者数	32人	32人	100.0%

【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	地方創生推進事業費（デジタル情報プラットフォーム整備事業負担金）			
担当課	企画調整課 スマートシティ推進室			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,352	4,926		500	4,926

説明

- 利用者があらかじめ登録した属性情報（年齢、子どもの有無など）や、これまでのアクセス履歴等のデータ分析結果から、閲覧者にとって興味関心の高い情報を優先的に表示させるとともに、様々なサービスと連携して必要な情報を一体的に表示させるインターネット上のポータルサイト「会津若松+（プラス）」を運用し、市民の皆様をはじめとした幅広い方々への情報提供と利便性の向上を図りました。

[事業概要]

- 行政情報だけでなく、地元新聞記事や地域からのお知らせなどについても、地域情報として一体的に提供しました。
- 個人宛ての重要書類もWeb上で受け取ることが可能な、日本郵便株が提供する「MyPost（マイポスト）」のサービスと連携し、市政だよりや広報議会、各種イベントのお知らせなどの情報を配信しました。
- 冬季においては、「除雪車ナビ」の機能により、除雪車の位置情報を提供しました。
- 母子健康情報サービスと連携し、母子健康手帳の情報を閲覧できる機能を提供しました。
- 学校と家庭をつなぐ情報配信アプリケーション「あいづっこ+」と連携し、各小中学校から配信されるおたよりや学校活動の様子が閲覧できる機能を提供しました。
- 配信情報に対する意見や質問などを投稿できるコメント投稿機能を設けることで、利用者同士や市がコミュニケーションできるサービスを提供しました。
- SNSのLINEを活用して市政情報の問い合わせにAI（人工知能）がお答えする「LINEでちゃチャット問い合わせサービス」を提供しました。
- 外国人観光客への情報発信として、デジタルDMOサイト「VISIT AIZU」を提供しました。
- 「ふくしまSDGs博」への出店や「AiCTデジタルまつり」の共催を通じて、「会津若松+」を基盤として進めるスマートシティ会津若松の理解促進を図りました。

[成果]

目標	実績値	達成率
ID登録者数 (KPI)	市民1割以上 23,680	208.8%

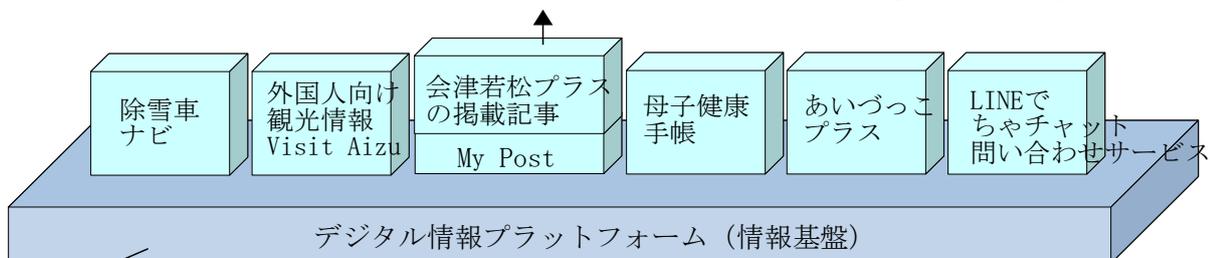
※R5.4.1現在 住基人口 113,386人

※実績値は、開設時からR5.3月末までの累計値

- 地域情報や利用者が希望するサービスを一体的に利用できるようにしたことや、AIを活用し、ゴミの捨て方、休日・夜間の当番医、住民票など各種証明書の発行手続きの方法などの問い合わせに、時間を問わずに回答できるようにしたこと、生活の利便性の向上を図りました。

【市民をつなぐ地域内のデジタル情報基盤】

会津若松プラスの個人認証の仕組みは、日本郵便の「ゆうびんID」と連携しており、個人宛ての重要書類もWeb上で受け取りが可能な「MyPost」も利用可能。



- 情報やサービス提供の共通基盤を整備するとともに、新たなサービスの開発や連携が容易にできるよう、この基盤と連携するための仕様を標準化。
- パソコンのみならず、スマートフォン等により情報を一体的に取得できる仕組みを構築。

【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	地方創生推進事業費（地域内進学促進業務委託）			
担当課	企画調整課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,155	577			578
説 明				
<p>○ 地元就職への興味関心や理解の醸成を図るため、会津地域の大学、専門学校と連携して、地元高等教育機関へ進学、地元企業に就職したキャリアデザインの事例を特集する情報誌を発行し、市内中学校・高校への配付を行いました。 また、中高生の来場が見込めるデジタル未来アート展の会場において、合同学校説明会を開催し、情報誌・パンフレットの配付や令和2年度に本事業で作成した各学校のPR動画の放送を行いました。</p> <p>[事業概要]</p> <p>1. 情報誌の作成（令和3年度の重版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内での進学・就職の事例を特集 (紹介した学校) ① 竹田看護専門学校 ② 仁愛看護福祉専門学校 ③ 会津准看護高等専修学校 ④ みとみ学園ライセンスアカデミー ⑤ 会津大学短期大学部 ⑥ 会津大学 ⑦ 福島県立テクノアカデミー会津 <p>(配付先)</p> <p>会津地域内の中学校・義務教育学校 59校（13,570部） 会津地域内の高等学校 19校（6,630部） 会津若松市国際交流協会 （50部）</p> <p>2. 合同学校説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元高等教育機関の合同での進学相談、情報誌・パンフレットの配布や令和2年度作成のPR動画の放映 (参加した学校) ① 会津准看護高等専修学校 ② みとみ学園ライセンスアカデミー ③ 会津大学短期大学部 ④ 福島県立テクノアカデミー会津 <p>(開催日)</p> <p>令和5年3月18日（土）～27日（月） ※うち、進学相談は、18日（土）、19日（日）に開催</p> <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報誌の配付 会津地域内の中学校・義務教育学校59校、高等学校19校 (KPI：会津地域内の中学校・義務教育学校（59校）、高等学校（19校）) ・ 地域内大学、専門学校の参加 ①情報誌7校、②合同学校説明会4校 (KPI：①②ともに8校) 				

【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	地方創生推進事業費（デジタル未来アート事業負担金）			
担当課	企画調整課 スマートシティ推進室			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,736	6,868			6,868

説 明

- 地元ICT企業や会津大学等との連携により、デジタルテクノロジーを活用したコンテンツの体験や仕組みなどの学習ができるイベント「デジタル未来アート展」を開催し、ICTを活用した遊び場づくりによる子育て支援、将来のスマートシティの推進を担う人材育成および地元企業等のしごとづくりや技術力向上を図りました。
 また、関連事業として、小学校の授業時間を活用したプログラミングワークショップや小学生から高校生までを対象としたプログラミングコンテストを実施し、プログラミング技術やプログラミング的思考を身につける機会を創出しました。

[開催概要]

- (1) 開催期間 令和5年3月18日（土）～27日（月）10日間 各日10：00～18：00
- (2) 開催場所 生涯学習総合センター（會津稽古堂）多目的ホール・市民ギャラリー等
- (3) 開催主体 デジタル未来アート事業実行委員会
- (4) ターゲット 未就学児～小学生の子ども及びその保護者
- (5) 主なコンテンツ
 - ・デジタルボールパーティ 【株式会社デザイニウム】
 - ・バーチャル鶴ヶ城マラソン 【株式会社デザイニウム】
 - ・KOBOSHI KIDS 【株式会社デザイニウム】
 - ・浮き出る物体！疑似ホログラム体験 【公立大学法人会津大学】
 - ・デジタル未来のモノづくり①～ITを使ったクラフトコーナー～ 【公立大学法人会津大学】
 - ・デジタル未来のモノづくり② ～3Dモデルをつくろう！～ 【公立大学法人会津大学】
 - ・VRボクシングリズムゲーム 【公立大学法人会津大学】
 - ・絵画ガチャ 【公立大学法人会津大学】
 - ・顔つら 【公立大学法人会津大学】
 - ・VRの世界を体験しよう！ 【福島県】
 - ・あるくメカトロウィーゴを動かそう！ 【株式会社リビングロボット】
 - ・プログラミングコンテスト応募作品展示 【デジタル未来アート事業実行委員会】

[開催成果]

指標	目標値	実績値	達成率
イベント来場者数	合計2,000人程度	合計5,140人	257%
地元ICT企業等によるコンテンツ開発数	新規4件以上	新規6件	150%
来場者の会津大学等への興味関心度	80%以上	87%	109%

[関連事業]

- (1) プログラミングワークショップ
 - ・会津大学発ベンチャー企業、地域でプログラミング教育を推進する団体、地元の高等学校などと連携し、市内9小学校で小型のドローン、ロボット及びコンピューターボード等を活用したプログラミングワークショップを実施しました。
- (2) プログラミングコンテスト
 - ・小学生～高校生を対象に「スクラッチ部門」、「電子工作・ロボット部門」で開催し、全国から17作品の応募がありました。

【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	地方創生推進事業費（結婚支援事業）			
担当課	企画調整課 協働・男女参画室			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,047	502			545

説 明

- 結婚希望者を対象とした「自分磨きセミナー」を開催するとともに、現代版仲人の知識の更新やスキルアップ等を目的とした「現代版仲人研修会」を開催しました。

[事業内容]

1. 自分磨きセミナーの開催

結婚希望者を対象に、自信をもって婚活に取り組めるよう外見や内面のスキルアップ及び結婚に関する不安の軽減につながるセミナーを開催しました。

- (1) 開催回数 9回
- (2) 開催内容 恋愛傾向診断や婚活準備・出会い・交際といった婚活の場面別のセミナーの実施
- (3) 実施結果 セミナー参加人数：KPI目標値 延べ120名、実績36名、達成率30%
セミナーの受講をきっかけに、結婚や婚活を前向き（自信がついた）に考えるようになった参加者の割合：KPI目標値100%、実績97.1%、達成率97.1%

2. 現代版仲人研修会の開催

結婚希望者のニーズに寄り添った継続的な支援を図るため、令和3年度まで養成した現代版仲人を対象に、支援者としての知識の更新やスキルアップのほか、現代版仲人同士の交流を促し活動への意欲を高めるための研修会を開催しました。

- (1) 開催回数 2回
- (2) 開催内容 最近の結婚・婚活事情の把握や支援にかかる具体的な手法について講義を受けるとともに、ベテランの現代版仲人からの活動紹介、課題や悩みの共有を図る研修の実施
- (3) 実施結果 研修会に参加した現代版仲人の割合：KPI目標値80%、実績55%、達成率68.8%
研修後、より前向きに支援に取り組みたいと考えるようになった参加者の割合：KPI目標値100%、実績100%、達成率100%

【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	地域振興費（移住支援金）			
担当課	地域づくり課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,000	3,000			1,000

説 明

○ 東京圏への過度な一極集中の是正及び地方の担い手不足対策のため、要件を満たした東京圏からの移住者に移住支援金を交付しました。

- ・ 移住支援金 単身：600千円、世帯：1,000千円（18歳未満1人につき、300千円加算）

1. 交付実績

- ・ 交付件数：6件
- ・ 交付金額：4,000千円（単身×5件、世帯×1件）

2. 支給対象者

住民票を移す直前の10年間のうち通算5年以上、かつ直前に連続して1年以上、東京23区に在住又は東京圏に在住し23区に通勤等していた人のうち、以下のいずれかに該当する者。

① 各都道府県のマッチングサイト（Fターンサイト等）、プロフェッショナル人材事業、または内閣府の先導的人材マッチング事業をとおして就業し市内に移住した人、または県起業支援事業の支援を受け県内で起業し市内に移住した人

② 本人の意思で移住し、移住前の業務をテレワークで実施する人

③ 本市の関係人口（※）と認められ、本市に移住し就職・起業・就農する人

※関係人口の例

市等が主催する移住イベントに参加した人、市等が運営する会員制の団体（ファンクラブ）等に登録している人、市内で地域づくり活動に参加している人 など

<参考>

移住・二地域居住相談件数・実践者（市定住・二地域居住推進協議会把握分）

年度	(H19～28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
相談件数	1,332件	273件	329件	237件	101件	208件	286件	2,766件
実践世帯数	83世帯	12世帯	16世帯	20世帯	8世帯	20世帯	20世帯	179世帯
実践人数	164人	22人	26人	29人	10人	31人	32人	314人

【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	地域振興費（定住コネクトスペース事業）			
担当課	地域づくり課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,834	2,310			5,524

説 明

- 本市への定住・二地域居住を推進するため、移住相談対応を中心として、移住希望者や移住者、テレワークやワーケーションの実践者と市内の様々な事業者（NPO、地域活動団体、企業）との交流や連携の創出、コワーキングスペースやサテライトオフィスの提供を行う拠点施設として「定住コネクトスペース」を運営しました。

会津若松市定住・二地域居住推進協議会負担金 7,834千円
 （定住コネクトスペース事業分）

○ 事業概要

開 所 日： 令和3年12月4日

開館時間： 午前9時～午後6時、毎週水曜日休館（サテライトオフィスを除く）

所 在 地： 会津若松市中町1-20（旧黒河内胃腸病医院）

○ 利用実績（令和4年度）

定住・二地域居住、テレワーク・ワーケーション等に関する相談：58件

コワーキングスペース：1,346人

交流スペース：151件・577人

移住者等と地元企業等との交流・共同プロジェクト：7件

サテライトオフィス：3社

○ KPI

指標名	目標値	実績値	達成率
市外からの移住者数（世帯・累計）	164世帯	179世帯	109.1%



【地方創生枠】 総務費

(単位：千円)

事業名	地域公共交通活性化事業費（新モビリティサービス推進事業負担金）			
担当課	地域づくり課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,000	2,500			2,500

説 明

- 高齢者や来訪者等の移動支援、公共交通空白地域対策に資するICTを活用した新しいモビリティサービスの構築に向けて、地元交通事業者やICT関連企業等により構成する「会津Samurai MaaSプロジェクト協議会」へ負担金を支出し、以下の取組を行いました。

[事業内容及び成果]

1. AIオンデマンド型路線バスの実証運行

- ・ 従来のバス停に加え、スマートフォンアプリを活用し、より短い間隔で仮想のバス停を設け、アプリでの予約に応じてAI（人工知能）がリアルタイムにデマンドバスを配車するとともに、複数の利用者が乗車できるよう最適なルートを選択しながら目的の乗降場所まで運行する「ダイナミックルーティングバス」の実証運行を行いました。
- ・ 期 間 等：令和5年1月23日～3月31日（9:00～16:00、1乗車400円）
- ・ 運行区域：会津若松市中心部
- ・ 利用件数：275件、日平均4.0件(13時から15時の利用が多い)

2. 高齢者スマートフォン利用教室の開催

- ・ 高齢者がスマートフォン等を活用して「AIオンデマンド型路線バス」の予約等を行うことができるよう、スマートフォン利用教室を開催しました。
- ・ 実施地区：金川町・田園町、行仁地区、日新地区等
- ・ 開催回数：6回
- ・ 利 用 数：延べ60人

【AIオンデマンド型路線バス専用アプリ画面】

[KPI]

市民1人あたりの市内公共交通利用回数
 (年間の市内公共交通利用回数／人口総数)
 令和4年度 目標値 14.0回
 実績値 9.8回 (達成率70%)



【地方創生枠】 衛生費

(単位：千円)

事業名	地域医療対策費（オンライン診療推進事業補助金）			
担当課	健康増進課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,303				5,303

説 明

- ICTを活用したオンライン診療の普及及び推進により、市民の通院等に係る身体的・経済的負担の軽減や重症化予防、さらには診療の効率化による医師の負担軽減を図ることで、地域医療サービスの質の向上、健康長寿社会の形成に資することから、会津オンライン診療研究会が行うオンライン診療推進事業に対し、補助金を交付しました。

〔事業実績〕

- オンライン診療に必要な通信機器の整備
通信機器レンタル及び通信費（タブレット：56台、Wi-Fi機器等：24台、バイタルリンク：4台）
- オンライン診療実績
実施医療機関 1施設 受診者 65名
（オンライン服薬指導：薬局2施設で実証）
- 周知活動
地元新聞への広告掲載（2回）
医療関係者等に向けた学習会等の開催（1回・オンライン配信）

〔KPI〕

指 標 名	R4実績	最終目標値	達成率
オンライン診療を行う医療機関等数	1施設	15施設	6.6%
オンライン診療を受ける受診者数	65名	100名	65.0%

【地方創生枠】農林水産業費

(単位：千円)

事業名	スマート農業推進事業費（スマートアグリ導入支援事業補助金）			
担当課	農政課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,000	3,000			3,000

説 明

○ 施設園芸作物の先進技術を活用した生産拡大・品質向上に向けて、ICTを活用した養液土耕栽培設備の導入を行い、経営力向上を目指す生産者に対して、これらの導入に必要な経費を支援し、先進技術の普及を図りました。

1. 補助金額内訳

No.	導入品目・地区	補助金額
1	トマト(湊町)	3,000千円
2	アスパラガス(北会津町)	3,000千円

2. 事業実施成果（導入後実績累計の平均）

目標	実績値	達成率
農産物売上額の増加（KPI）	20%	56.6%
		283%

3. 導入効果（同上）

販売金額	出荷量	労働時間
156.6%	165.0%	93.2%

4. 普及へ向けた取組

これまでに生産者、事業者、県会津農林事務所、JAなどによる生産実績検討会の開催を通じたシステム導入による効果の周知や、導入者からのアンケートを契機としたシステム活用方法の周知を通して普及を図ってきました。

【地方創生枠】農林水産業費

(単位：千円)

事業名	スマート農業推進事業費（スマートアグリ実証事業補助金）			
担当課	農政課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,800	6,900			6,900

説 明

○ 水田水管理システム

ICTを活用した水田の水管理システムの導入を支援することで、労働時間の短縮効果を実証し、水稲や園芸作物の更なる規模拡大の可能性について検討しました。

1. 補助金額内訳

導入内容・地区	補助金額
開閉装置・開水路用アタッチメント、通信中継器（河東）	1,800千円
合計	1,800千円

2. 事業実施成果（令和4年度実績の平均）

目標	実績値	達成率
水管理に係る労働時間の短縮	20%	61.5%

3. 導入効果（同上）

項目	水管理	10aあたり	未導入ほ場との比較
導入ほ場	8時間9分	92分	38.5%
未導入ほ場	15時間1分	240分	—

○ 栽培支援ドローン

栽培支援（撮影用と農薬散布用）ドローンの導入を支援し、撮影した画像による葉色診断等に基づいて農薬及び肥料の散布を行うことによる労働時間の短縮効果を実証し、水稲や園芸作物の更なる規模拡大の可能性について検討しました。

1. 補助金額内訳

導入内容・地区	補助金額
葉色診断用ドローン、農薬等散布用ドローン（北会津町）	4,000千円
葉色診断用ドローン、農薬等散布用ドローン（町北町）	4,000千円
葉色診断用ドローン、農薬等散布用ドローン（神指町）	4,000千円
合計	12,000千円

2. 事業実施成果（令和4年度実績の平均）

目標	実績値	達成率
農薬散布及び追肥に係る労働時間の短縮(KPI)	20%	40.0%

3. 導入効果（同上）

項目	数値	効果
農薬散布時間	約51%減少	作業時間58分/10aが、ドローンの導入により28分/10aに短縮
施肥作業時間	約29%減少	作業時間33分/10aが、ドローンの導入により23分/10aに短縮

【地方創生枠】教育費

(単位：千円)

事業名	地域とつながる教育支援事業費			
担当課	学校教育課			
決算額	財源内訳			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,300				3,300

説 明

- 会津若松市教育ポータルサイト「あいづっこWeb」と連携し、スマートフォン向けアプリケーション「あいづっこ+（プラス）」を運用することで、保護者をはじめとした幅広い方々に学校情報を発信しました。
- 画面デザインの変更による見やすさと操作のしやすさの向上や、「あいづっこWeb」の行事予定カレンダーを「あいづっこ+」に取り込む機能の追加等により、利便性の向上を図りました。

[事業内容]

- ① スマートフォン用アプリケーション「あいづっこ+」の運用
 - ・「あいづっこWeb」に掲載された記事や連絡事項などをスマートフォンで見やすく表示
 - ※記事や連絡事項が更新された場合の通知機能有り
 - ・子どもが通う学校を登録した保護者等に限定してお便りや連絡事項を配信
 - ・気に入った写真などを保存することが可能
 - ・学校行事等をカレンダー機能で管理することが可能
- ② 会津若松市教育ポータルサイト「あいづっこWeb」の運用
 - ・学校のホームページとして、日ごろの活動の様子やお知らせ等を掲載

[成果]

指標名	目標値（※）	実績値	達成率
「あいづっこ+」登録者数（KPI）	2,100人	4,972人	236.8%

※目標値は、第2期市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げたもの。

主要な施策の成果（特別会計）

会津若松市国民健康保険特別会計

2款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																																	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
保険給付費 (国保年金課)	7,712,493	7,630,222			82,271																														
説 明																																			
○ 国民健康保険法に基づく医療給付事業（現物給付・現金給付）を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費等の給付により被保険者負担の軽減を図りました。 また、出産育児一時金や葬祭費の給付を行うことで、被保険者の費用負担の軽減を図りました。																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内 訳</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者療養給付費</td> <td>現物給付</td> <td>6,651,988 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費</td> <td>現金給付</td> <td>20,887 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額療養費</td> <td>現物・現金給付</td> <td>985,381 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額介護合算療養費</td> <td>現金給付</td> <td>175 千円</td> </tr> <tr> <td>出産育児一時金</td> <td>44 件</td> <td>17,693 千円</td> </tr> <tr> <td>葬祭費</td> <td>174 件</td> <td>8,700 千円</td> </tr> <tr> <td>傷病手当金</td> <td>45 件</td> <td>1,012 千円</td> </tr> <tr> <td>審査支払手数料</td> <td></td> <td>26,657 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>7,712,493 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 訳	金 額	一般被保険者療養給付費	現物給付	6,651,988 千円	一般被保険者療養費	現金給付	20,887 千円	一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	985,381 千円	一般被保険者高額介護合算療養費	現金給付	175 千円	出産育児一時金	44 件	17,693 千円	葬祭費	174 件	8,700 千円	傷病手当金	45 件	1,012 千円	審査支払手数料		26,657 千円	合 計		7,712,493 千円
事業名	内 訳	金 額																																	
一般被保険者療養給付費	現物給付	6,651,988 千円																																	
一般被保険者療養費	現金給付	20,887 千円																																	
一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	985,381 千円																																	
一般被保険者高額介護合算療養費	現金給付	175 千円																																	
出産育児一時金	44 件	17,693 千円																																	
葬祭費	174 件	8,700 千円																																	
傷病手当金	45 件	1,012 千円																																	
審査支払手数料		26,657 千円																																	
合 計		7,712,493 千円																																	

3款 国民健康保険事業費納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳													
		国県支出金	地方債	その他	一般財源										
国民健康保険事業費納付金 (国保年金課)	2,777,918	106,951			2,670,967										
説 明															
○ 国民健康保険の県単位化に伴い、県が負担する保険給付費等交付金やその他の事業に要する費用に充てるための国民健康保険事業費納付金を県に納付しました。															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者医療給付費分</td> <td>1,880,566 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者後期高齢者支援金等分</td> <td>655,044 千円</td> </tr> <tr> <td>介護納付金分</td> <td>242,308 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>2,777,918 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金 額	一般被保険者医療給付費分	1,880,566 千円	一般被保険者後期高齢者支援金等分	655,044 千円	介護納付金分	242,308 千円	合 計	2,777,918 千円
事業名	金 額														
一般被保険者医療給付費分	1,880,566 千円														
一般被保険者後期高齢者支援金等分	655,044 千円														
介護納付金分	242,308 千円														
合 計	2,777,918 千円														

4 款 保健事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
保健事業費 (国保年金課)	118,601	39,357			79,244

説 明

- 国民健康保険の被保険者の健康保持、増進及び医療費の適正化のため、特定健康診査を実施するとともに、健康に配慮した食環境整備事業や医療費通知などを行い、健康に関する意識向上を図りました。

事業名	内 容	金 額
特定健診等委託（集団健診）	受診者 2,342 人	31,735 千円
特定健診等委託（施設健診）	受診者 6,672 人	62,996 千円
食環境整備事業	食育啓発チラシ配布等	157 千円
医療費等通知		8,963 千円
その他		14,750 千円
合 計		118,601 千円

会津若松市観光施設事業特別会計

2 款 若松城天守閣費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
若松城天守閣管理運営費 (観光課)	200,035	52,190		137,883	9,962
説 明					
<p>○ 文化財借用 若松城天守閣郷土博物館内で展示するための文化財を借用し、謝礼金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費 2,124千円 ・ 文化財借用件数 31件 (101点) <p>○ 若松城天守閣展示リニューアル業務委託 (令和5年度へ繰越) 若松城天守閣展示リニューアル検討会で決定した展示方針をもとに、展示手法にデジタル技術により多く取り入れ、全体的に登閣者をまちなかへ誘導する展示構成とするなど全面的なリニューアルをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約方法：プロポーザル方式 ・ 受注者：株式会社トータルメディア開発研究所 ・ 契約期間：令和4年6月17日～令和5年4月27日 <p>○ 若松城天守閣長寿命化各種工事 若松城天守閣の長寿命化を図るため、耐震補強工事、機械設備改修工事、電気設備改修工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若松城天守閣長寿命化建築工事 工事費：86,196千円 受注者：会津土建株式会社 施工期間：令和4年10月3日～令和5年3月24日 ・ 若松城天守閣長寿命化機械設備工事 工事費：37,950千円 受注者：ハッ橋設備株式会社 施工期間：令和4年9月8日～令和5年3月29日 ・ 若松城天守閣長寿命化電気設備工事 工事費：12,644千円 受注者：有限会社エレクトリックプラン 施工期間：令和4年9月8日～令和5年3月17日 <p>○ 若松城走長屋軒瓦改修工事 令和4年2月に発生した雪害により被害を受けた若松城走長屋軒瓦の修繕工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事費：9,900千円 受注者：株式会社弓田建設 施工期間：令和4年12月22日～令和5年3月21日 					

3 款 若松城整備費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
若松城整備総務費 (観光課)	37,635	12,150		25,328	157
説 明					
<p>○ 鶴ヶ城公園事業特定計画調査業務委託 史跡指定区域内における公園機能の保全を図るため、区域内の園路や雨水排水路、石垣、濠などに係る環境調査や診断等の基礎調査を実施するとともに、今後の整備計画の策定に向けた、整備を要する箇所の特定や、整備手法等の検討を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料：20,013千円 ・受注者：株式会社ダイエツ ・委託期間：令和4年6月24日から令和5年3月27日 <p>○ 廊下橋健全度調査業務委託 廊下橋の安全性を確保するため、木橋診断士による橋梁の定期点検(5年に1回)を実施するとともに、劣化状況等に係る健全度調査を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料：11,004千円 ・受注者：株式会社ダイエツ ・委託期間：令和5年1月11日から令和5年3月27日 <p>○ 廊下橋塗装工事 廊下橋の長寿命化を図るため、橋全体の塗装工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料：6,463千円 ・受注者：会津土建株式会社 ・委託期間：令和5年1月26日から令和5年3月27日 					
史跡若松城跡ライトアップ事業費 (観光課)	15,469				15,469
説 明					
<p>○ 春季における史跡若松城跡の夜間の魅力を創造するため、桜をはじめ、石垣やお濠、廊下橋などのライトアップを実施し、観光誘客に努めました。 また、令和3年度に引き続き、本丸周辺と二ノ丸周辺を分けて演出することにより、観桜期における新たな魅力の創造と夜間観光の推進に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和4年4月4日～6月30日（89日間） ・ライトアップ点灯期間中夜間の鶴ヶ城公園来場者数：22,868人 ・点灯式：令和4年4月4日開催 <p>(1) 史跡若松城跡本丸周辺ライトアップ業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先：Light uppers ・委託料：10,417千円 <p>(2) 史跡若松城跡二ノ丸周辺ライトアップ業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先：Light uppers ・委託料：4,912千円 					

会津若松市地方卸売市場事業特別会計

1 款 地方卸売市場事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
管理運営費 (農政課)	82,311			10,605	71,706

説 明

○ 市場運営を通して、市民に対する生鮮食料品などの安定供給を図りました。

令和4年度の卸売に係る取扱実績は下記のとおりです。

[青果部] (単位：t)

区分	野菜	果実	加工	合計
地場	1,841	660	70	2,571
移入	7,726	3,493	418	11,637
小計	9,567	4,153	488	14,208

[水産物部] (単位：t)

区分	鮮魚	太物	塩干	加工	冷凍	冷食	食品	合計
移入	549	297	870	2,377	205	633	1,924	6,855

[花き部] (単位：千本・鉢)

区分	切花	枝物	鉢物	葉物	加工	その他	合計
地場	241	20	17	117	191	12	-
移入	2,172	54	43				-
小計	2,413	74	60	117	191	12	2,867

[関係業者]

卸売業者：5社（青果部2社、水産物部2社、花き部1社）

仲卸業者：6社（青果部4社、水産物部2社）

関連事業者：7社

会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計

1 款 土地区画整理事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
扇町土地区画整理促進事業費 (開発管理課)	76,731			75,470	1,261

説 明

○ 土地区画整理事業の推進により、良好な住環境の整備に努めました。

1. 工事請負費

内 容	事業量	事 業 概 要	金 額
その他の工事	3件	施行者管理地整備、屋外掲示板設置、1号公園張芝	1,438千円

2. 委託料

内 容	事 業 概 要	金 額
換地計画業務委託	換地計画供覧図書作成、公共施設の消滅帰属協議、土地及び建物登記調査等	71,709千円
法定相続人等調査業務委託	未相続登記の法定相続人及び法定相続分(持分)調査	766千円
合 計		72,475千円

3. 補償補填及び賠償金

内 容	事業量	事 業 概 要	金 額
物件移転補償等	3件	支障埋設物撤去等	1,558千円

会津若松市介護保険特別会計

2 款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
保険給付費 (高齢福祉課)	10,923,239	4,608,656		2,964,479	3,350,104
説 明					
○ 介護サービス等諸費 介護保険法に基づき、要介護者に対して介護給付事業を行い、被保険者の福祉の向上を図りました。 ・ 保険給付額 10,024,411千円					
○ 介護予防サービス等諸費 介護保険法に基づき、要支援者に対する予防給付事業を行い、被保険者の保健医療の向上、福祉の向上を図りました。 ・ 保険給付額 242,344千円					
○ 高額介護サービス等費 介護保険法に基づき、高額介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 255,925千円					
○ 高額医療合算介護サービス等費 介護保険法に基づき、介護保険と医療保険の高額負担者に対して、高額医療合算介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 22,787千円					
○ 諸費 ・ 審査支払手数料 9,622千円					
○ 特定入所者介護サービス等費 介護保険法に基づき、施設入所者の居住費と食費の自己負担分に関して、低所得の入居者に対して補足給付を行うことにより負担の軽減を図りました。 ・ 保険給付額 368,150千円					

3 款 地域支援事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域支援事業費 (高齢福祉課)	763,789	379,189		130,069	254,531
説 明					
○ 介護予防・日常生活支援総合事業費					
<p>要介護状態とならないよう要支援者等を対象とした介護予防・生活支援サービス事業と、すべての高齢者を対象とした一般介護予防事業を実施し、介護予防に取り組みました。</p>					
1. 介護予防・生活支援サービス事業					
・ 第1号訪問・通所等事業費	409,733千円				
・ 高額介護予防サービス費相当等事業費	618千円				
・ 介護予防ケアマネジメント事業費	55,960千円				
2. 一般介護予防事業					
・ 介護予防教室	開催回数	490回	(令和3年度より135回の増)		
・ 介護予防講座	開催回数	61回	(令和3年度より22回の増)		
・ 地域リハビリテーション活動支援事業	実施団体数	19団体	(令和3年度より6団体の増)		
○ 包括的支援事業・任意事業費					
<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、様々な事業を実施するとともに、7ヶ所の地域包括支援センターに相談業務や介護予防ケアマネジメント業務等を委託し、福祉や健康の増進を図りました。</p>					
・ 地域包括支援センター事業	延べ相談件数	58,140件	(令和3年度より2,162件の増)		
・ 寝たきり高齢者等紙おむつ等給付事業	給付者	694人	(令和3年度より47人の減)		
・ 訪問給食サービス事業	食数	124,083食	(令和3年度より25,742食の増)		
・ 認知症サポーター養成講座	参加者	722人	(令和3年度より90人の増)		
・ 認知症外出見守りシステム事業	利用者	42人	(令和3年度より10人の減)		

会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計

1 款 宅地整備事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
三本松地区宅地整備事業費 (都市計画課)	611				611
説 明					
○ 北会津地域の均衡ある発展と地元経済の活性化のための住宅地分譲事業であり、分譲地等の維持管理を行い、良好な宅地環境の向上に努めました。					
1. 委託料					
内 容		業務内容	金 額		
除草業務委託		旧第3工区の除草	198千円		
水質検査業務委託		旧第3工区及びその下流周辺の水質検査	374千円		
合 計			572千円		

会津若松市後期高齢者医療特別会計

2 款 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
後期高齢者医療広域連合納付金 (国保年金課)	1,420,120				1,420,120
説 明					
○ 福島県後期高齢者医療広域連合により運営されている後期高齢者医療制度の適正かつ円滑な運営のため、広域連合に対し、保険基盤安定負担金及び保険料を納めました。					
事業名		金 額			
後期高齢者医療保険基盤安定負担金		344,291千円			
後期高齢者医療保険料等負担金		1,075,829千円			
合 計		1,420,120千円			